

平成 22 年 3 月 28 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19330144

研究課題名（和文） 社会的判断の新しい分析手法の開発と社会政策への応用

研究課題名（英文） Development of new analysis method of social judgment and its application to social policy

研究代表者

竹村 和久（TAKEMURA KAZUHISA）

早稲田大学・文学学術院・教授

研究者番号：10212028

研究代表者の専門分野：社会心理学、意思決定論

科研費の分科・細目：心理学・社会心理学 3901

キーワード：社会的判断、社会政策、社会的認知、生理心理学、ファジィ理論、意思決定、潜在認知

### 1. 研究計画の概要

本研究は、社会的判断の新しい分析技法を開発するために、実験と社会調査を通じての検証を通じて開発し、その分析方法を用いて、社会政策に利用するための理論的視座とその実例を提供することを目的としている。具体的には、第1の研究目的は、社会的判断の評定に関する調査手法と分析手法を新しく開発することであった。第2の研究目的は、社会的判断の認知処理がどのように行われているかを反応時間の分析手法などを通じて明らかにし、反応の生起メカニズムを組み込んだ反応時間分析手法を開発することであった。第3の研究目的は、社会的判断にまつわる生理過程を脳画像測定や眼球運動測定などの手法によって明らかにし、この手法をもとに生理データの分析技法を開発することであった。

### 2. 研究の進捗状況

本研究では、第1に、社会的判断の評定分析法の開発と妥当性の検討を行うために、社会的判断の状況について、言語ヘッジを用いたファジィ評定法、従来の手法である種々の評定法の比較調査を行い、予測妥当性などを検討した。また、本研究では、計算機上の画像表示による評定システムを作成した。第2に、社会的判断の反応時間分析法の開発と妥当性の検討では、新しい社会的判断の状況について、ノートPCを用いて、潜在連想モデルに基づく社会的判断実験を行い、従来の手法との比較実験を行い、その妥当性を検討した。また、この結果をもとにモデルと開発技法を

改良した。第3の社会的判断の生理的分析法の開発と妥当性研究では、新しい社会的判断の状況について、眼球運動測定装置による注視分析モデルの検証実験を行い、計量モデルの予測精度と、分析法の頑健性を検討した。最後に、総合的検討として、現地調査やヒアリングを通じて開発された手法の応用可能性を検討した。また、これらの研究の成果は、国内外の学会において発表され、また、研究集会も開いて国内外の研究者との意見交換を行った。

### 3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

### 4. 今後の研究の推進方策

IATなどの社会的認知手法やポリグラフなどの生理的手法を用いた潜在認知過程の分析、ファジィ理論を用いた分析手法などの知見を取り入れて、総合的な社会的判断の分析手法を提案して、社会的場面における応用を試みる予定である。

### 5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 53 件）

#### 1. 唐沢かおり・大高瑞郁・竹内真純（印刷中）

中高齢者の失業に対する政策への態度規

定要因：原因帰属の観点からのアプローチ

社会心理学研究 査読有

2. Ohira, H. (in press). The somatic marker revisited: Brain and body in emotional decision making. *Emotion Review*. 査読有
3. 水野真由子 福澤一吉 副島昂樹 津野聡子 岩田誠 (2010)パーキンソン病患者におけるステップ運動の運動学的解析臨床神経 第50巻 74-80 査読有
4. 竹村和久 (2009) 意思決定と神経経済学臨床精神医学 38(1), 35 - 42, 査読無
5. Ohira, H., Fukuyama, S., Kimura, K., Nomura, M., Isowa, T., Ichikawa, N., Matsunaga, M., Shinoda, J., & Yamada, J. (2009). Regulation of natural killer cell redistribution by prefrontal cortex during stochastic learning. *NeuroImage*, 47, 897-907.
6. 若山大樹(2009)地方自治体の合併事例にみる民意把握の問題, 感性工学, 8(3), 783-789 . 査読有
7. 羽鳥 剛史・黒岩 武志・藤井 聡・竹村 和久, (2009)道徳性発達理論に基づく土木技術者倫理に関する実証的研究-倫理規定の解釈可能性が土木技術者の倫理性に及ぼす影響-, 土木学会論文集 D, pp.262-279. 査読有
8. Fujii, S., Van, H.T.. (2009) Psychological determinants of the intention to use the Bus in Ho Chi Minh City. *Journal of Public Transportation*, 12 (1), pp. 97 - 110. 査読有
9. Choocharukul, K. Van, H.T.and Fujii, S. (2008) Psychological effects of travel behavior on preference of residential location choice *Transportation Research A*, 42 (1), pp. 116-124. 査読有
10. 竹村和久・井出野尚・大久保重孝・松井博史 (2008) 神経経済学と前頭葉, 分子精神医学, 8(2), 35 - 40 . 査読無
11. Fujii, S. (2007) Communication with non-drivers for promoting long-term pro-environmental travel behaviour, *Transportation Research D*, 12, pp. 99-102. 査読有
12. 藤井 聡 (2007) 公共事業をめぐる世論における“沈黙”の分析, 心理学研究, 78 (2), pp. 157-164. 査読有
13. 井出野尚・竹村和久 (2007)潜在的連想テストを用いたリスク・マップの作成 日本感性工学会研究論文集, 7(1), 101 - 110. 査読有
14. Takemura, K. (2007) Ambiguous comparative judgment: Fuzzy set model and data analysis. *Japanese Psychological Research*, 49(2), 148-156. 査読有
15. Takemura, K. and Selart, M. (2007) Decision making with information search constraints: A process tracing study. *Behaviormetrika*, 34(2), 111-130. 査読有 [学会発表](計 71件)
1. Takemura, K. Takasaki, I., Sato, N., Kinoshita, M., Iwamitsu, Y., Ideno, T. & Yoshida, K. (2008) . Image analysis of projective drawings for mental patients and students *Proceeding of the Second International Workshop on Kansei*, pp.94-97 [図書](計 18件)
1. 竹村和久 (2009) 行動意思決定論 - 経済行動の心理学 日本評論社 査読無
2. 竹村和久 (2008) 意思決定過程の心理学 子安増生・西村和男(編) 経済心理学のすすめ 有斐閣, 45-68. 査読無
3. Fujii, S. and Garling, T. (2007) Role and acquisition of car-use habit, In Tommy Garling and Linda Steg (Eds.), *Threat from Car Traffic to the Quality of Urban Life: Problems, causes, and solutions*, Elsevier, pp. 235- 250. 査読有
- [その他]  
ホームページ:  
<http://www.waseda.jp/sem-takemura/>,  
<http://www.waseda.jp/sem-takemura/>,  
<http://www.lit.nagoya-u.ac.jp/~ohiralab/top.htm>,  
<http://trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp>,  
<http://karasawaken.blog100.fc2.com/>

樣式 C-7-2

## 自己評価報告書